

## 家庭教育支援事業の企画力向上セミナー

**趣 旨** 「社会全体で子どもをはぐくむ運動」の全県的展開を支援するため、先進的事例の研究協議や事業・学習プログラムの立案・展開・評価に関する理論と実践的な知識・技術の習得を通して、市町村職員等の家庭教育支援に関する企画力・運営力の向上を図る。

**実施主体** 新潟県立生涯学習推進センター

**参加対象** 市町村生涯学習・社会教育関係職員、地域家庭教育・子育て支援団体関係者

**参加者数** 延べ 237名

**回 数** 2回 **日 数** 4日 **時 間** 20時間

**場 所** 新潟県立生涯学習推進センター 大研修室

### 内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月7日(水) ～6月8日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で必要とされる家庭教育支援は何か考える</li> <li>地域課題解決の方策を探る</li> </ul>	茨城大学助教授 長谷川 幸介 毎日の生活研究所代表 矢郷 恵子
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「子育てを中心にした地域づくり」の講義の後で、県内の2事例の発表から家庭教育支援の現状と課題を把握した。その後、地域別グループに分かれて課題を考えた。</li> <li>○地域課題解決の会議を促進するためにファシリテーショングラフィックを学び、グループ毎に実践した。</li> </ul>	
2	8月31日(木) ～9月1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>父親の家庭教育参加を促進する学習プログラムの立案</li> <li>効果的な広報の仕方を考える</li> </ul>	NPO法人 男女共同参画おおた理事 牟田 静香
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「人の集まる講義を企画する視点」「事業評価分析の視点」の講義の後、異種グループで父親の集まるプログラムを作成した。</li> <li>○「企画の意図を効果的に伝える広報のあり方」の講義で、広報チラシの善し悪しが参加者数を左右することを、資料をあげて分かりやすく説明。その後、父親の集まるプログラムの広報チラシをコンピュータで実際に作成し、お互いに評価した。</li> </ul>	

**成 果**

- ・ 受講者参加型の内容を多く取り入れたので、即実践に役立つことが期待される。
- ・ 成果物（ファシリテーショングラフィックによる地域課題解決策、父親の家庭教育参加プログラム広報チラシ）を当センターホームページに公表した。
- ・ 2日間連続の研修は、参加者の負担も大きい研修を深めることができた。

**課 題**

- ・ 第1回（延べ参加52名）と第2回（延べ参加185名）の受講者数から、より実践的な内容の研修が望まれていることが分かったので、アンケート結果を分析して要求度の高い研修内容を企画する。
- ・ 受講者のネットワークを機能させるために、受講後の支援の仕方をどのようにするか。

**問合せ先** 新潟県立生涯学習推進センター 学習振興課（担当 小熊幸子）  
電話：025-284-6110